



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤間 和敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイトに動画掲載)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	26,185	10.3	1,375	△5.6	1,391	△3.1	893	△5.8
2022年3月期第2四半期	23,738	4.4	1,457	1.5	1,436	0.8	949	△5.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 901百万円 (△5.4%) 2022年3月期第2四半期 953百万円 (△4.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	35.77	35.42
2022年3月期第2四半期	38.01	37.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	27,383	14,072	51.1
2022年3月期	27,491	13,655	49.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,992百万円 2022年3月期 13,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	8.4	3,200	11.7	3,140	11.5	2,008	9.3	80.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、2022年7月29日付で17,534株の譲渡制限付株式の発行を行っております。2023年3月期の連結業績予想における「1株当たりの当期純利益」については、当該株式発行の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	24,998,733株	2022年3月期	24,981,199株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	168株	2022年3月期	168株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	24,987,163株	2022年3月期2Q	24,971,008株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続くなか、経済活動の制限緩和などによる正常化に向けた動きがみられる一方、資源・原材料価格の上昇や為替の影響、地政学的リスクの高まり等により、依然として先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に介護サービスに対する需要の増加が予想されております。その一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保は厳しさを増しているものの、介護職員の収入を引き上げるための措置として介護職員処遇改善支援補助金が交付されるなど、国の政策は追い風となっております。新型コロナウイルス感染症に対しては、これまでの波をはるかに上回る爆発的な勢いで感染が拡大した夏場の第7波の影響を受ける形となりました。現在は、国内の新規感染者数はピークアウトをしたものの、引き続き予断を許さない状況は続いております。

新型コロナウイルス感染症拡大が長期化している状況下において、当社グループでは、これまで以上に「成長」を意識した施策を講じることに努めております。感染症の波による影響は不可避であることを前提とし、感染拡大下ではこれまでの対応経験を活かした安全確保、感染予防、感染拡大防止対策を講じながらも、将来に向けた積極的な投資を進めております。当第2四半期連結累計期間につきましては、新規出店に加えて、新会社となる「セントケアDX株式会社」及び「セントケア岡山株式会社」の2社を7月に設立し事業開始に向けた準備を進めてまいりました。

業績につきましては、昨年の11月に株式会社福祉の里が連結子会社となり当期業績に加わった結果、売上高は261億85百万円（前年同期比10.3%増）となりました。サービス全般で増客傾向は維持し、第7波下（7－9月）では利用控えや休廃止等により集客が鈍化するなどの影響を受けたなかでも、概ね計画どおりの売上高で着地することができました。

費用面においては、感染拡大下のなかでサービス提供を継続するための環境整備として、衛生用品の購入による経費の増加に加え、人的資本である従業員に対しての特別勤務手当や休業補償、見舞金の支給などは継続して積極的に実施したことにより、人件費が想定を上回って増加したことが利益を押し下げる主たる要因となりました。この他、株式会社福祉の里の業績を取り込んだことや緩やかながらも水道光熱費等が上昇したこと、前期を上回る新規出店計画に伴う当第2四半期連結累計期間に開設した拠点の費用や第3四半期以降に出店する拠点の開設前費用として人件費を中心に増加いたしました。

この結果、営業利益は13億75百万円（同5.6%減）、経常利益は13億91百万円（同3.1%減）、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は8億93百万円（同5.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

訪問系サービスでは、主に訪問介護や訪問入浴、居宅介護支援において株式会社福祉の里が業績に寄与いたしました。訪問看護では前期に開設した拠点が収益貢献したものの、当第2四半期連結累計期間に8ヶ所と積極的に新規開設を進めたことで費用が増加したほか、既存拠点を中心に看護師の積極的な確保を進めたことに対し集客との乖離により減益となりました。

施設系サービスでは、看護小規模多機能型居宅介護において当期では6ヶ所の開設計画に対して、当第2四半期連結累計期間においては4ヶ所の開設と順調に規模拡大を進めております。また、前期8ヶ所の開設拠点の貢献や既存拠点の改善が進んだことなどが奏功し、新規開設に伴う費用を吸収できたことで増収増益となっております。ショートステイやデイサービスにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大下での休止による稼働の低下などにより減益となりました。

これらの結果、売上高は257億30百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は9億92百万円（同12.0%減）となりました。

なお、当社グループが推し進めております「コミュニティNo.1拠点」については、当第2四半期連結累計期間において4エリアで実施しております。当期では計画通り20エリアでの実施を予定しております。

・その他

その他においては、セントワークス株式会社における労働者派遣事業及び介護保険ASPシステムの販売事業で顧客が減少しました。その結果、売上高は6億66百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益は15百万円（同61.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より1億8百万円（前期末比0.4%）減少し、273億83百万円となりました。

流動資産は、前期末より1億86百万円（同1.3%）減少し、139億38百万円となりました。これは主に売掛金が4億3百万円増加した一方で、現金及び預金が5億58百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より78百万円（同0.6%）増加し、134億44百万円となりました。これは主に投資その他の資産が66百万円、無形固定資産が62百万円減少した一方で、有形固定資産が2億7百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末より1億5百万円（同1.5%）減少し、69億79百万円となりました。これは主に未払金が1億36百万円増加した一方で、賞与引当金が1億17百万円、流動負債「その他」に含まれております未払消費税等が59百万円、未払法人税等が46百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より4億20百万円（同6.2%）減少し、63億31百万円となりました。これは主に長期借入金が3億81百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より4億17百万円（同3.1%）増加し、140億72百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億94百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、2022年5月16日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,605,957	5,047,690
売掛金	7,383,324	7,787,215
棚卸資産	137,343	136,378
その他	1,019,876	990,864
貸倒引当金	△20,927	△23,193
流動資産合計	14,125,574	13,938,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,245,088	4,689,811
リース資産(純額)	2,794,442	2,697,227
その他(純額)	1,533,701	1,393,961
有形固定資産合計	8,573,232	8,781,000
無形固定資産		
のれん	450,840	411,464
リース資産	8,259	6,194
その他	374,837	353,727
無形固定資産合計	833,937	771,386
投資その他の資産		
差入保証金	2,136,378	2,123,257
その他	1,822,368	1,768,650
投資その他の資産合計	3,958,746	3,891,908
固定資産合計	13,365,917	13,444,295
資産合計	27,491,492	27,383,249
負債の部		
流動負債		
買掛金	524,297	504,396
1年内返済予定の長期借入金	767,531	736,520
リース債務	186,885	185,270
未払金	3,016,538	3,152,933
未払法人税等	472,549	426,081
賞与引当金	1,384,705	1,267,395
その他	731,886	706,639
流動負債合計	7,084,394	6,979,237
固定負債		
長期借入金	1,510,362	1,128,512
リース債務	3,141,914	3,049,397
退職給付に係る負債	1,742,591	1,823,391
資産除去債務	138,332	144,196
その他	218,752	185,584
固定負債合計	6,751,953	6,331,082
負債合計	13,836,347	13,310,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,764,646	1,772,405
資本剰余金	1,720,546	1,728,305
利益剰余金	10,175,710	10,569,992
自己株式	△92	△92
株主資本合計	13,660,811	14,070,611
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△86,251	△78,265
その他の包括利益累計額合計	△86,251	△78,265
新株予約権	80,584	80,584
純資産合計	13,655,144	14,072,930
負債純資産合計	27,491,492	27,383,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	23,738,213	26,185,358
売上原価	20,477,892	22,872,278
売上総利益	3,260,320	3,313,080
販売費及び一般管理費	1,802,883	1,937,345
営業利益	1,457,437	1,375,734
営業外収益		
受取利息	2,404	2,241
受取配当金	1,671	2,929
受取保険金	3,692	4,294
受取家賃	19,357	21,514
補助金収入	18,109	15,865
助成金収入	9,593	8,788
その他	19,675	54,300
営業外収益合計	74,505	109,934
営業外費用		
支払利息	71,217	67,502
持分法による投資損失	15,473	19,068
その他	9,125	7,184
営業外費用合計	95,816	93,755
経常利益	1,436,126	1,391,913
特別利益		
固定資産売却益	21	73
補助金収入	3,139	2,110
特別利益合計	3,160	2,183
特別損失		
固定資産除却損	303	275
固定資産圧縮損	2,149	2,025
減損損失	3,192	1,140
特別損失合計	5,645	3,442
税金等調整前四半期純利益	1,433,641	1,390,655
法人税等	484,401	496,752
四半期純利益	949,240	893,902
親会社株主に帰属する四半期純利益	949,240	893,902

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	949,240	893,902
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	4,199	7,986
その他の包括利益合計	4,199	7,986
四半期包括利益	953,439	901,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	953,439	901,888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間より、セントケアDX株式会社及びセントケア岡山株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。